

2024年度 第1回医療技術部研修会

# 医療技術部の2023年度の動向

医療技術部長 藤埜浩一

# 本日の内容

1. 医療技術部について
2. 2023年度の活動について
  - ◆研修会活動について
  - ◆医療機器の管理について
3. 人事管理について
4. 個人目標の設定について

# 医療技術部設立の経緯

2002年に国立大学附属病院長会議が「臨床施設である国立大学法人病院の医療提供機能強化を目指したマネジメント改革」を提言。

その中の「効率的運営を図るための病院組織の改革」において、「従来の診療支援業務の整理・合理化を進める。臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士等の医療技術職員の人事面での管理と流動性を高めるために、医療技術職員は診療支援部（仮称）において一括管理する。」と明記された。

**当院では2005年4月に医療技術部が発足**

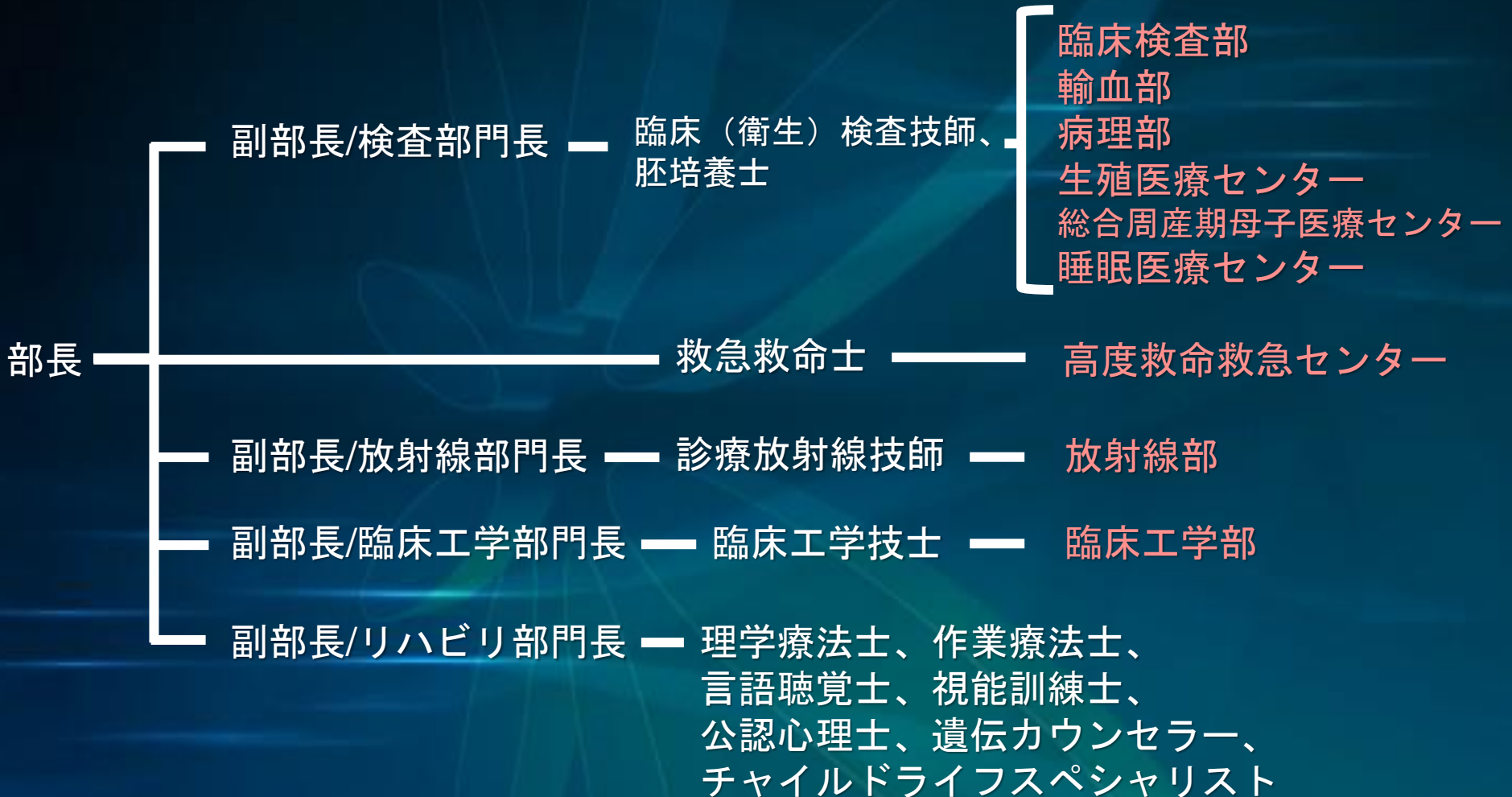
# 大阪大学医学部附属病院医療技術部の組織及び業務等に係る規定

## 第2条

医療技術部は、中央診療施設等における業務の円滑な遂行を図るため、技術職員(医療)を一元的に組織し、効率かつ適切な要員配置を行い、もって効率的な病院運営及び診療支援並びに患者サービスの向上に資することを目的とする。

**人事管理・業務管理の一元化によって  
医療技術職員の意識統一を図る**

# 医療技術部組織図



リハビリテーション部、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、患者包括サポートセンター、神経科・精神科、遺伝子診療部、小児医療センター、小児科外来、子どものこころの診療センター、疼痛医療センター、摂食嚥下センター

# 2023年度 医療技術部研修会

第1回	医療技術部研修会【～医療技術部の動向について～】	2023年4月6日（木）	132名
第2回	医療技術部研修会【～新規採用者を対象とした各部門見学会～】	2023年5月24日（木）	35名
第3回	医療技術部研修会【～疾患別統合勉強会（脳神経伝達系）～】	2023年6月8日（木）	139名
第4回	医療技術部研修会【～動作介助ABC～】	2023年7月6日（木）	47名
第5回	医療技術部研修会【～医療安全～】	2023年9月14日（木）	118名
第6回	医療技術部研修会【～特別講演～】 「21世紀の診断・病態解析・治療への検査医学の貢献」 講師：長崎国際大学学長 安東 由喜雄	2023年10月3日（火）	151名
第7回	医療技術部研修会【～スキルアップ勉強会～ 第1弾】 「近年の大学病院をめぐる動向と阪大病院を取り巻く 諸課題について—事務部の視点から—」講師：事務部長 多田 典史	2023年11月2日（木）	117名
第8回	医療技術部研修会【～スキルアップ勉強会～ 第1弾】 「～経営改善への参画について～」講師：管理課長 清水 隆行	2023年12月7日（木）	107名
第9回	医療技術部研修会【～医療機器～】	2024年1月11日（木）	108名
第10回	医療技術部研修会【～今年のトピックス～】	2024年2月1日（木）	125名
第11回	医療技術部研修会【～個人目標の成果発表～】	2024年3月14日（木）	89名

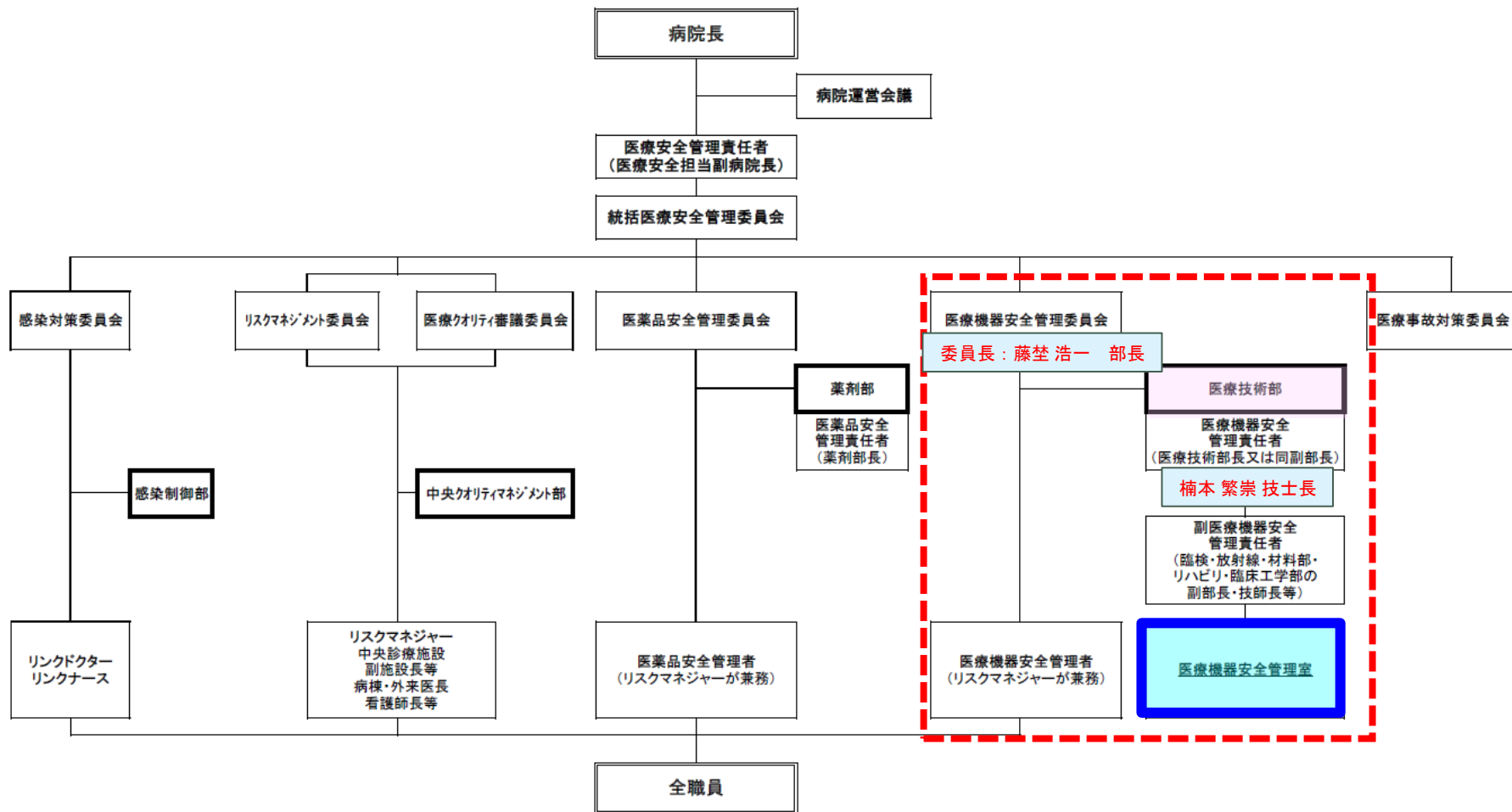
# 2023年度 医療技術部職員が関係する院内講習会

講習会名	開催日	参加者
第1回 感染対策講習会・医療機器安全管理・リスクマネジメント講習会 「MRI検査における安全管理」	2023年6月15日（木）	41名
第1回 医療機器安全管理講習会（eラーニング） 「直流除細動装置（DC）と自動体外式除細動器（AED） の取扱いと日常点検」	2023年6月16日（木）	e-learning
第2回 医療機器安全管理講習会（eラーニング） 「特定医療機器5品目の保守管理について」 「心電計と心電図」	2023年11月29日（水）	e-learning
【上期】特定機器安全使用のためのeラーニング	2023年4月1日（土） ～9月30日（土）	e-learning
【下期】特定機器安全使用のためのeラーニング	2023年10月1日（日） ～2024年3月31日（日）	e-learning
新人看護職員対象 MRI検査の安全管理研修会（eラーニング）	2023年7月1日（土） ～12月31日（日）	e-learning
新規導入機器の安全使用のための講習会をe-learning （心電計（ECG2460）、血圧計（ES-H56D）、ベッドサイドモニター（PVM-4763）、 輸液ポンプ（TE-281）、シリンジポンプ（TE-351/352、TE-381）、除細動器（TEC- 5631））	2023年4月1日（土） ～2024年3月31日（日）	e-learning

# 統括医療安全委員会規定における 医療機器安全管理室の位置づけ

大阪大学医学部附属病院における医療の安全に関する組織図

(別表2)



注)      の部門は各委員会に関連する部門であり、委員会の下部組織ではない。



# 医療機器安全管理に関する連絡体制

2024年度

医療機器安全管理委員会委員長  
藤埜 浩一：医療技術部長

医療機器安全管理室  
組織図

医療機器安全管理室室長  
兼 医療機器安全管理責任者  
楠本 繁崇：副医療技術部長  
臨床工学部技士長

医療機器安全管理  
責任者

臨床検査部管理  
ISO関連機器  
上野 智浩

放射線部管理  
特定機能2品目  
井ノ上 信一

放射線部管理  
特定機能以外  
永吉 誠

医療機器安全性  
情報全般  
峰松 佑輔

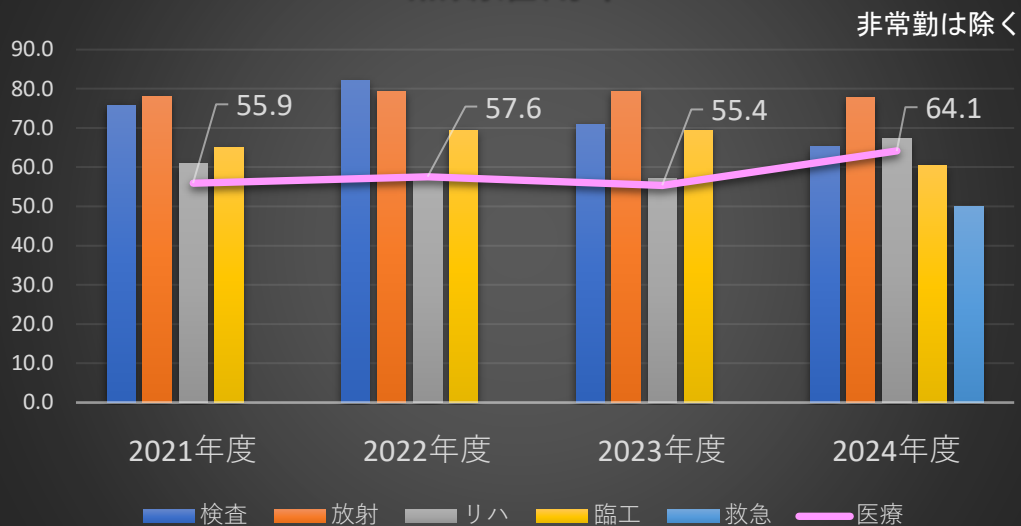
臨床工学部管理  
特定機能5品目  
宇田 大介

臨床工学部管理  
特定機能以外  
平野 匠

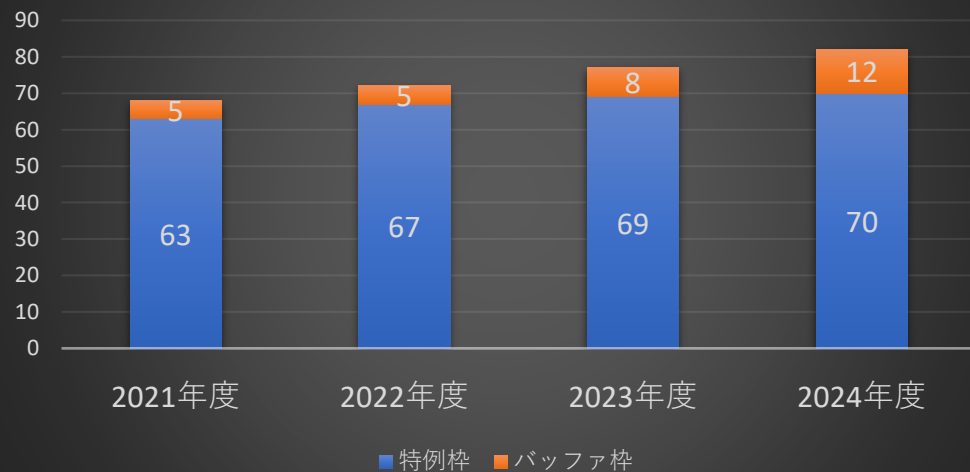
臨床工学部管理  
医療安全研修  
宇留野 達彦

# 無期雇用率と特例枠、バッファ枠の推移

## 無期雇用率



## 特例枠とバッファ枠



# 医療技術部の課題

課題【期限】：組織改革【統合診療棟開設 2025年度】

医療技術部は、・・・技術職員(医療)を一元的に組織し、  
効率かつ適切な要員配置・・・効率的な病院運営・・・  
ことを目的とする。 (病院 規定 第2条)

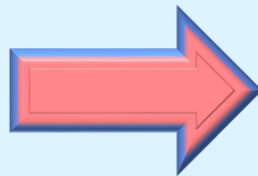
大阪大学医学部附属病院医療技術部の組織及び業務等に係る規定

## 【背景】

医療技術部への業務サービス拡充の要請 ⇒ 増大

## 【課題】

業務改革の推進  
(業務効率化)



職種毎の業務改革  
(一元管理)

# 医療技術部の課題

課題【期限】：組織改革【統合診療棟開設 2025年度までに】

職種毎の業務改革を  
促進するために・・・



職種毎の組織改革が必須

【効果】 ⇒ 一元管理がもたらすメリット

- ◆ 雇用の合理化を図ることで人員補充の可能性が増す。
- ◆ 人材育成のシステム化が可能となり、欠員対応力が増す。
- ◆ 職種の身分・処遇の改善が見込める。

職種毎に主任制度(副技師長含む)化を図る

# 個人目標 レベル

目標レベル

初級：～3年

中級：4～9年

上級：10年～

カテゴリー

組 織

経営、人材管理、体制、教育・指導

医療の質

医療安全、リスクマネジメント、患者情報  
患者対応ルーチン業務

学 術

学会参加、学術研究発表、論文執筆

チーム医療  
モラル

協調性、挨拶、情報の共有、法令順守、他部との関わり

# 個人目標の配分



# 目標設定に関して

---

1. チームの一員として何ができるか考える
2. 専門技術の臨床への提供
3. 学術成果を目に見える形で残す
4. 教育・指導システムの確立

# 医療技術部の効果

- 多様な職種で構成されているため、自分の専門領域を超えた視点で患者サービス向上の創意工夫や業務改善に取り組むことができる。
- 小規模部門では、構成人員の数の制約上、特例化枠の拡大が困難であるが、統括することで総合的な評価に基づく常勤化比率を高めることができる。
- 人員の採用計画の策定により、医療技術部として、部門者数の適正評価が可能となる。（優秀な人材の早期確保）
- 医療技術部の有効性をアピールする機会が増えることで、医療技術部の価値観と評価を高めることができる。
- 各部門の問題点や課題を共有することにより、具体性のあ  
る精度の高い対策を講じることができる。
- 各部門の状況を相互で理解することにより、より働きやすい環境整備が実施できる。



# 執行部が求める能力

装 置	医療機器の安全管理・精度管理
	装置の性能を最大限に発揮させる
臨床技術	依頼目的を的確に反映した技術の提供
	最適な臨床技術部の適用
臨床情報	疑義照会
	臨床で得た患者情報の相互供与
業 務	医療安全管理・危機管理
	医師や看護師の働きやすい環境の整備
向上心	新しい臨床技術の開発
	業務への還元・リーダーシップ